

(19) 日本国特許庁 ( J P )

(12) 公開特許公報 ( A )

(11) 特許出願公開番号

特開2000-275237

( P2000-275237A )

(43) 公開日 平成12年10月6日 (2000.10.6)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-コ-ド*(参考)
G 0 1 N 31/00		G 0 1 N 31/00	Q 2 G 0 4 2
21/76		21/76	2 G 0 5 4

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-82688

(22) 出願日 平成11年3月26日 (1999.3.26)

(71) 出願人 599035627

学校法人加計学園

岡山県岡山市理大町1-1

(71) 出願人 000004400

オルガノ株式会社

東京都江東区新砂1丁目2番8号

(72) 発明者 山崎 重雄

岡山県岡山市下伊福西町1-7

(72) 発明者 井上 洋

東京都江東区新砂1丁目2番8号 オルガノ株式会社内

(74) 代理人 100092303

弁理士 三浦 進二

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ハロゲン分子及び／又はハロゲン化物の検出方法

(57) 【要約】

【課題】 ハロゲン分子及び／又はハロゲン化物を高感度で簡便且つ迅速に検出する低コストの方法を提供する。

【解決手段】 遷移金属元素と含窒素芳香族系配位子との錯体を酸化して遷移金属元素の酸化数を増加させ、次いで、得られる酸化体とハロゲン分子及び／又はハロゲン化物とを接触させる際に系内に遷移金属のハロゲン化物とヒドロキシ酸及び／又はその塩を共存させて化学発光せしめ、その化学発光強度を測定し、ハロゲン分子及び／又はハロゲン化物の濃度を定量する。検出用試薬としては、例えば、発光物質としてはルテニウム錯体、発光助剤としては塩化ルテニウム(III)と酒石酸を好ましく用いることができる。

